

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位 (時間)	科目責任者
解剖生理学Ⅲ	1年次	必修	講義	1単位 (30時間)	竹内 法子
授 業 概 要					
<p>人体の基本的な構造および生体の機能と仕組み、身体内外に起こる諸現象とその要因など、いわゆる生命現象を知る科目である。各器官系別に、緻密で精妙な生体の構造形態と機能の基本的な特性、また、病態との関連性についても、マクロ・ミクロの両面からアプローチし、恒常性の維持に関する内容も含めて解説する。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系の構造と形態および機能、ガス交換とガスの運搬、呼吸の調節について、その特徴を理解し説明できる。 ・口腔や消化管とその上皮、肝・胆・膵など消化器系の構造と形態および機能、消化管運動と消化腺の分泌、消化と吸収、消化器系の調節、代謝と栄養について、その特徴を理解し説明できる。 					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	呼吸器系：呼吸器系の概要と機能				竹内 法子
2	：上気道の構造と機能－鼻、鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭				
3	：下気道の構造と機能－気管、気管支				
4	：肺の構造と機能				
5	：胸腔、胸膜、胸水、縦隔				
6	：呼吸運動のメカニズム、肺活量、肺胞換気量、ガス交換				
7	：換気と血流、換気血流比、酸素解離曲線				
8	：呼吸の調節、発声				
9	消化器系：消化管と消化腺、消化管の基本構造				
10	：消化器の構造と機能－口腔、咽頭、食道、				
11	：消化器の構造と機能－胃、小腸、大腸、肛門				
12	：消化器の構造と機能－肝臓、胆嚢				
13	：消化器の構造と機能－膵臓、腹膜と腹膜腔、後腹膜器官				
14	：消化腺の分泌－唾液、胃液、膵液、胆汁、腸液				
15	：消化運動とその調節、栄養素の吸収と代謝				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書および参考書を基本に、配付資料も加えて授業を行う。 ・配付資料は内容を理解して、授業および自習に活用する。 ・講義内容を十分に復習し、理解を深めること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・第2回講義以降、前回までの講義内容に関する小テストを、隔回または不定期で行う。 ・定期試験(70%)および小テスト(30%)により総合評価する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
人体の構造と機能 第5版		内田さえ、佐伯由香、原田玲子		医歯薬出版株式会社	
ぜんぶわかる人体解剖図		坂井建雄、橋本尚詞		成美堂出版	
新編 カラーアトラス組織・細胞学		岩永敏彦、木村俊介、小林純子		医歯薬出版株式会社	
〔参考書〕					
標準臨床検査学 基礎医学 人体の構造と機能		岩谷良則		医学書院	
最新臨床検査学講座 解剖学		秋田恵一、星治		医歯薬出版株式会社	
最新臨床検査学講座 生理学		奈良信雄、和田隆志		医歯薬出版株式会社	